

参考資料

総プロ・プロ研・事項立て 研究課題一覧

研究課題名	研究期間														分科会 担当部会	研究課題区分		
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	総プロ		プロ研	事項	
低炭素・水素エネルギー活用社会に向けた都市システム技術の開発	■	■	■											H21～24	その他	●	●	
社会資本の予防保全的管理のための点検・監視技術の開発		■	■	■										H22～24	その他	●	●	
グリーンITSの研究開発	■	■	■											H22～24	第一部会		●	
3次元データを用いた設計・施工・維持管理の高度化に関する研究	■	■	■											H22～24	第二部会		●	
地震動情報の高度化に対応した建築物の耐震性能評価技術の開発		■	■	■										H22～25	その他	●	●	
気候変動下での大規模水災害に対する施策群の設定・選択を支援する基盤技術の開発	■	■	■	■										H22～25	第一部会		●	●
道路交通の常時観測データの収集・分析及び利活用の高度化に関する研究		■	■	■										H23～25	第一部会		●	
中古住宅流通促進・ストック再生に向けた既存住宅等の性能評価技術の開発			■	■	■	■								H23～26	その他	●	●	
津波からの多重防護・減災システムに関する研究（プロ研課題名） ・災害対応を改善する津波浸水想定システムに関する研究（事項立て課題名）（H23～25） ・沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究（事項立て課題名）の一部（H24～26）			■	■	■	■								H23～26	第一部会		●	●
大規模広域型地震被害の即時推測技術に関する研究			■	■	■	■								H23～26	第一部会		●	●
超過外力と複合的自然災害に対する危機管理に関する研究				■	■	■								H24～26	第一部会		●	●
ICTを活用した人の移動情報の基盤整備及び交通計画への適用に関する研究				■	■	■								H24～26	第一部会			●
大規模土砂生産後の流砂系土砂管理のあり方に関する研究				■	■	■								H24～26	第一部会		●	
木造3階建学校の火災安全性に関する研究			■	■	■	■								H23～26	第二部会		●	
沿岸都市の防災構造化支援技術に関する研究				■	■	■								H24～26	第二部会			●
外装材の耐震安全性の評価手法・基準に関する研究				■	■	■								H24～26	第二部会			●
建物火災時における避難安全性の算定法と目標水準に関する研究				■	■	■								H24～26	第二部会			●
国際バルク貨物輸送効率化のための新たな港湾計画手法の開発			■	■	■	■								H23～26	第三部会			●
電力依存度低減に資する建築物の評価・設計技術の開発						■	■	■						H25～27	その他	●	●	
大規模地震災害時における最低限の下水道機能維持・早期復旧に関する研究（プロ研課題名） ・下水道施設の戦略的な耐震対策優先度評価手法に関する調査（事項立て事前評価時課題名）						■	■	■						H25～27	第一部会		●	●
持続可能な社会・経済・生活を支える社会資本の潜在的役割・効果に関する研究						■	■	■						H25～27	第一部会		●	
道路インフラと自動車技術との連携による次世代ITSの開発						■	■	■						H25～27	第一部会		●	
リスクマネジメントの観点を組み込んだ維持管理の持続性向上手法に関する研究							■	■						H26～27	第一部会		●	●
非構造部材の安全性評価手法の研究 評価時課題名：非構造部材と構造部材の統一的安全性評価のための設計規範の研究								■	■					H26～27	第一部会		●	
地域の住宅生産技術に対応した省エネルギー技術の評価手法に関する研究						■	■	■						H25～27	第二部会			●
港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する研究							■	■	■					H25～27	第三部会		●	●
港湾地域における津波からの安全性向上に関する研究（プロ研課題名） ・港湾域外地における津波からの安全性向上に関する研究（事項立て事前評価時課題名）							■	■	■					H25～27	第三部会		●	●
東日本大震災によって影響を受けた港湾域の環境修復技術に関する研究							■	■	■					H25～27	第三部会		●	●
社会資本等の維持管理効率化・高度化のための情報蓄積・利活用技術の開発							■	■	■	■				H25～28	その他	●	●	
災害拠点建築物の機能継続技術の開発							■	■	■	■				H25～28	その他	●	●	
津波防災地域づくりにおける自然・地域インフラの活用に関する研究							■	■	■					H26～28	第一部会			●
巨大地震に対する中低層建築物の地震被害軽減技術に関する研究							■	■	■					H26～28	第二部会		●	●
住生活満足度の評価構造に基づく住宅施策の効果的実施手法に関する研究								■	■	■				H26～28	第二部会			●
都市の計画的な縮退・再編のための維持管理技術及び立地評定技術の開発								■	■	■				H26～28	第二部会		●	●
地震時の市街地火災等に対する都市の脆弱部分及び防災対策効果の評価に関する研究								■	■	■				H26～28	第二部会		●	●
空港舗装の点検・補修技術の高度化に関する研究							■	■	■					H26～28	第三部会		●	●
地域安心居住機能の戦略的ストックマネジメント技術の開発								■	■	■				H27～29	その他	●		
下水処理場の既存施設能力を活用した汚水処理システムの効率化に関する研究									■	■				H27～29	第一部会			●
気候変動下の都市における戦略的災害リスク低減手法の開発 評価時課題名：気候変動下の災害リスク情報に基づく低リスク社会構築手法の開発								■	■	■				H27～29	第一部会			●
リアルタイム観測・監視データを活用した高精度土砂災害発生予測手法の研究								■	■	■				H27～29	第一部会			●
地震誘発火災を被った建築物の安全性・再使用性評価法に関する研究								■	■	■				H27～29	第二部会			●
共同住宅等における災害時の高齢者・障がい者に向けた避難支援技術の評価基準の開発								■	■	■				H27～29	第二部会		●	
みどりを利用した都市の熱的環境改善による低炭素都市づくりの評価手法の開発								■	■	■				H27～29	第二部会		●	
海上輸送の構造変化に対応したコンテナ航路網予測手法の開発								■	■	■				H27～29	第三部会			●
防火・避難規制等の合理化による既存建築活用に資する技術開発								■	■	■	■			H28～32	その他	●		
社会資本整備プロセスにおける現場生産性向上に関する研究									■	■				H28～30	第一部会			●
木造住宅の簡易な構造性能評価法の開発									■	■	■			H28～30	第二部会			●
建築設備の自動制御技術によるエネルギー削減効果の評価法の開発									■	■	■			H28～30	第二部会			●
高潮災害に対する港湾地帯の安全性の確保に関する研究										■	■			H28～30	第三部会			●
既存港湾施設の長寿命化・有効活用に関する実務的評価手法に関する研究									■	■	■			H28～30	第三部会			●
【総プロ】ICTの全面的な活用による建設生産性向上に関する研究									■	■	■	■		H29～32	その他	●		
【総プロ】新しい木質材料等を活用した混構造建築物の構造設計法の開発									■	■	■	■	■	H29～33	その他	●		
水防活動支援技術に関する研究									■	■	■			H29～31	第一部会			●
避難所における被災者の健康と安全確保のための設備等改修技術の開発									■	■	■			H29～31	第二部会			●
建築物のエネルギー消費性能の向上を目指したファサード設計法に関する研究									■	■	■			H29～31	第二部会			●
多様化する生活支援機能を踏まえた都市構造の分析・評価技術の開発									■	■	■			H29～31	第三部会			●
地震火災時の通行可能性診断技術の開発									■	■	■			H29～31	第二部会			●
地震災害時における空港舗装の迅速な点検・復旧方法に関する研究									■	■	■			H29～31	第三部会			●
【新規要求課題】																		
成熟社会に対応した住宅団地の再生技術の開発									■	■	■	■	■	H30～34	その他	●		
AIを活用した建設生産システムの高度化に関する研究										■	■	■	■	H30～33	その他	●		
下水道管路を対象とした総合マネジメントに関する研究										■	■	■	■	H30～32	第一部会			●
減災推進のための氾濫リスク情報の活用に関する研究										■	■	■	■	H30～32	第一部会			●
大規模地震に起因する土砂災害のプレアナリシス手法の開発										■	■	■	■	H30～32	第一部会			●
建築物の外装・防水層の長寿命化改修に資する既存RC部材の評価技術の開発										■	■	■	■	H30～32	第二部会			●
ライフステージに即したバリアフリー効果の見える化手法の確立											■	■	■	H30～32	第二部会			●
緑地等による都市環境改善効果の定量的評価手法に関する研究											■	■	■	H30～32	第三部会			●
大規模地震時の港湾施設の即時被害推定手法に関する研究										■	■	■	■	H30～32	第三部会			●
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			総プロ	プロ研	事項

凡例

■：研究期間 ■：第一部会 評価対象課題(事前・事後・追跡) ■：第二部会 評価対象課題(事前・事後) ■：第三部会 評価対象課題(事前・事後)

※分科会担当部会の「その他」については本省主催の評価委員会にて行う。

平成29年度第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）
事前評価シート

評価者	〇〇〇〇 委員
評価日	平成29年 月 日

課題名 〇〇

研究期間 平成〇〇年度～平成〇〇年度

研究代表者 〇〇研究部 〇〇〇〇

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、国総研にて実施すべきか事前評価を行う。

【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等

【効率性】計画・実施体制の妥当性等

【有効性】新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<コメント>

※実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに○を記載願います。

①実施すべき / ②一部修正して実施すべき / ③再検討すべき

※上記評価の視点と項目からの評価、研究を実施するに当たっての留意事項、及びその他について記述願います。

平成29年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）
事後評価シート

評価者	〇〇〇〇 委員
評価日	平成29年 月 日

課題名 〇〇

研究期間 平成〇〇年度～平成28年度

プロジェクト名 〇〇研究部 〇〇〇〇

<評価の視点と項目>

研究課題毎に、必要性、効率性、有効性の観点を踏まえ、「研究の実施方法と体制の妥当性」「目標の達成度」について事後評価を行う。
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等
 【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）	コメント
研究の実施方法 と体制の妥当性	1 適切であった 2 概ね適切であった 3 やや適切でなかった 4 適切でなかった	
目標の達成度	1 十分に目標を達成できた 2 概ね目標を達成できた 3 あまり目標を達成できなかった 4 ほとんど目標を達成できなかった	

その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。
 （目標設定の妥当性、研究成果の活用方針、科学的・技術的意義等）

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。

平成29年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）
追跡評価シート

評価者	〇〇〇〇 委員
評価日	平成29年 月 日

課題名 〇〇

研究期間 平成〇〇年度～平成25年度

担当研究部 〇〇研究部 〇〇〇〇

<評価の視点と項目>

研究課題毎に、「成果の反映状況」、「事後評価時点での課題への対応」の観点を踏まえ追跡評価を行う。

【成果の反映状況】

- ・成果の直接的な反映状況
- ・成果の直接的な反映以外の波及効果や副次的効果、次の研究への貢献度
(副次的効果とは、主な効果に付随して発生する効果、本来の目的として期待されたものではない二次的な影響)
- ・（成果の活用目標を十分達成出来なかった場合）達成できなかった原因の考察・整理

【事後評価時点での課題への対応状況】

- ・事後評価時点で提示された主な意見に対する対応状況

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）
成果の反映状況	A 十分に成果が反映（社会・国民に還元）されている。 B 概ね成果が反映（社会・国民に還元）されている。 C あまり成果が反映（社会・国民に還元）されていない。 D ほとんど成果が反映（社会・国民に還元）されていない。
コメント	

※その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。